

MRI 検査を受けられる方へ

MRI 検査とは

MRI 検査とは強い磁石と電波を使い、身体の内部構造を精密に検査する手段です。
放射線被ばくはありません。

1. MRI 検査を受けて頂けない場合がある方

MRI 検査で使われる磁石や電波は、普通の場合は人体への影響は無いと考えられています。
ただし、次のような方は MRI 検査を受けて頂けない場合がありますので、担当医または
検査担当者にあらかじめお知らせください。

- 心臓のペースメーカーや刺激電極、人工内耳、神経刺激装置がある方。
(誤作動や故障の危険があります)
- 刺青のある方。(磁気により火傷したり、変色する事があります)
- 脳動脈クリップやコイル、人工弁、IUD、人工関節、ワイヤー、ブレード、可動性義眼、
砲弾の破片などの体内金属がある方や以前に外科手術を受けたことがある方。
(磁気により火傷したり、金属が移動し障害が生じる可能性があります)
- 妊婦または妊娠されている可能性のある方。
- 閉所恐怖症など、狭いところが苦手な方。

2. MRI 検査室に持ち込めないもの

* 検査室は強い磁力が出ているので、次のようなものは持ち込むことができません。

金属類(時計、メガネ、ライター、ヘアピン、鍵、アクセサリ類など)、磁気カード(診察券、
キャッシュカード、テレホンカード、クレジットカード、定期券、乗車券など)、その他、取り外
しのできる義歯、補聴器、カラーコンタクト、カイロ、ベルト、エレキバン、金属のついた下着、
コルセット、かつら、杖などを持って入ることができません。化粧品(アイシャドウ等)の中には
金属を含んでいるものがありますので、検査前に落としておいて下さい。

* これらを持ち込まれ、火傷や傷害を負われたり、物品が破損しても一切の責任を負いかねます。

3. その他

- ・ 検査予約時間の 10 分前には放射線科受付にお越し下さい。
- ・ 当院は救急患者の受け入れをしております。緊急検査が必要な場合は、順番が前後して待ち
時間が発生する場合がございます。何卒、ご理解、ご協力をお願いいたします。
- ・ 造影がある場合は検査前 3 時間、MRCP (胆嚢や膵臓の検査) の場合は検査前 6 時間は食事を
控えてください。(糖尿病薬使用中など食事を抜くことが難しい方は主治医にご相談ください)